

事務事業チェックシート

事務事業No 435 事業名 観光エコステーション事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	4	観光の稼ぐ力の強化
施策	1	観光客受入体制の整備
取組方針	2	観光基盤の充実

事業種別	継続	
事業期間	H27 ~	
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	観光課	澤本 博行(435-1234)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		観光振興費	
	大事項		観光振興事業	
事項		観光誘客対策事業		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどのような状態にする) ための事業か)	事業内容				
	移動手段に自転車を活用することで観光客の回遊性の向上を目指す。	わか地下広場と和歌山城観光案内所にレンタサイクル拠点を設置し、レンタサイクルを観光客に提供しまちなかでの回遊性の向上を図る。				
実施内容		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		城まちeco観光レンタサイクル事業 随意契約によりユタカ交通株式会社と委託契約	平成26年度で当該事業は終了 平成27年度からは観光課で観光エコステーション事業として和歌山市観光協会と委託契約	観光エコステーション事業	観光エコステーション事業	観光エコステーション事業

2 事業コスト

事業費等 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	13,931	11,444	6,608	4,078	6,328	3,812	6,328		6,328	
伸び率 (%)	-	-	▲52.6%	▲64.4%	▲4.2%	▲6.5%	0.0%	▲100.0%		0.0%
人件費	正規職員	2,507	3,325	3,325	6,278	3,325	4,606	6,532		6,532
	正規職員以外									
小計	2,507	3,325	3,325	6,278	3,325	4,606	6,532		6,532	
国庫支出金			5,220	4,078						
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	13,931	13,931	1,388	0	6,328	3,812	6,328		6,328	
所要人数 (人)	正規職員	0.33	0.45	0.45	0.83	0.45	0.58	0.82		0.82
	正規職員以外									
主な予算内訳	観光協会事業補助金 6,328千円									

3 目標及び実績

指標名	単位	目標値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標 自転車の貸出拠点数	か所	目標値	12	1	1	2	2
		実績値	12	1	2		
		達成度 (%)	100.0%	100.0%	200.0%		
成果指標 自転車のレンタル台数	台	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
		実績値	8,827	4,260	4,313		
		達成度 (%)	88.3%	42.6%	43.1%		

4 事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)		達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正		負担は求められない	○	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実		○		
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>市内の観光スポットが点在していることもあり、観光客にとって便利な移動手段ではあるが、乗り捨て可能で利用料金が安価であったことから、ビジネス客の利用が増えるとともに自転車の輸送費や人件費などの経費がかかり、公共交通機関の利用が減少するなど、平成27年度までは費用対効果が見られなかった。</p> <p>平成27年度からは、利用料金を見直し、レンタサイクル拠点を利用率の高いJR和歌山駅前に絞り、和歌山市での滞在時間を増やし、効率的な事業運営を行った。</p>
見直し・改善内容	平成29年度も同様に行うが、今後の市駅建替に伴い、そちらでの事業運営を検討していく。